

# かえる便り 30年度28号

平成31年2月13日

余寒の候、皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

どんな自分になりたいと思いますか？また、どんな人生を送りたいと思いますか？我が子にどんな人生を歩んでほしいと思いますか？（下記は水戸黄門の主題歌2番）

**人生勇気が必要だ**

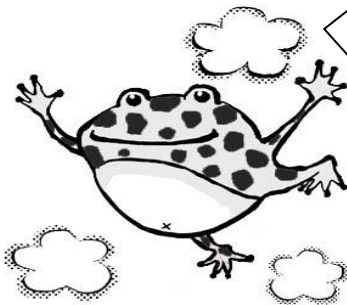
**くじけりや誰かが先に行く**

**あとから来たのに追い越され**

**泣くのがいやならさあ歩け**

どの様な道を歩みたいのか、その道を進むためには何が必要か？その必要なことに対して、時間とお金を有効に使っているかを考えたいものです。一日の時間は誰も同じであり、時間を増やすことは出来ません。しかし、何事をするにも時間をかけ投資しなければ、知識や技術を高めることは出来ません。量をかけて真摯に取り組んでいれば、質が変わる瞬間があります。毎日の練習は時間を決めて行っています。

その限られた時間に集中して取り組み、量を質に転化させて欲しいものです。



ヘレンケラーの言葉です。『人生はどちらかです。勇気を持って挑むか、棒にふるか。』今までしたことがないことに挑戦するには、勇気が必要です。挑戦するには、心身の準備が必要です。準備万端で行っても失敗はあります。常に準備不足で行うのと、良い準備をしての失敗は違うと思います。また、卒部式が来ます。何を学び、生かすか…？

幼児の頃は、周りの物全てが未知のものであり、知らないことだから、好奇心を持って触ったりなめたり、“なぜ・なぜ”を連発していたと思います。質問をするという事は、真剣に聞くことにつながると思います。伸びる人とそうでない人の違いは、好奇心を持っているか、人の話を聞くことが出来るかにあるように思います。無関心な人は、周りを見ていないので予測が出来ない。好奇心を持っている人は、ものごとを注意深く見ているから“なぜ”だろうかと考える探究心が強く、問題は何かを考えるから解決力も高まると思います。また、仲間を助けられる人も同様だと思いますよ!!人が何を求めているかを考えられるから、手を差し伸べることが出来ます。サッカーの世界も同じです。周りを見て、“今何をすべきか”、“仲間を助けるためにどうすべきか”を考え行動し、その結果から学び高める努力をして欲しいものです。“何もしない、言わない”ことは、自他のためにならない!!